



## 愛媛県立図書館 読書会協力図書 新規受入セットのご紹介(一般向け) 平成 25 年版目録掲載

### 0 読書・雑書

#### 060 すべては今日から

児玉清著 新潮社 2012(平成 24)年 283p

稀代の読書家である著者の、書評と本にまつわるエッセイ集。ドイツ語や英語の原書を読みこなし、洋の東西を問わず小説をこよなく愛した著者ならではの読書案内の数々は、本を読む喜びにあふれている。

児玉清氏は 2011 年 5 月に逝去。

### 3 社会の問題

#### 3166 無縁社会 増補版 (文春文庫)

NHK スペシャル取材班編著 文藝春秋

2012(平成 24)年 346p

NHK 取材班の地道な取材により、孤独死を迎える人が年間 3 万 2 千人に及ぶという実像が浮かび上がった。その周辺を調べると、ごく普通の人たちの日常の果てにある無縁社会の現実が見えてくる。2010 年発行の初版にその後の社会情勢の変化から章を追加した増補版。

\*\*\*\*\*

#### 3167 聞く力 心をひらく 35 のヒント (文春新書)

阿川佐和子著 文藝春秋 2012(平成 24)年 253p

“親身になって話を聞く。それは、自分の意見を伝えようとか、自分がどうにかしてあげようとか、そういう欲を捨ててひたすら「聞く」こと。”(本文より) 雑誌やテレビなどで、たくさんの人を相手にインタビューをこなす著者ならではの「聞き方」のコツが詰まった 1 冊。

### 4 自然をみつめる

#### 473 山中伸弥先生に、人生と iPS 細胞について聞いてみた

山中伸弥・緑慎也著 講談社 2012(平成 24)年 190p

2012 年ノーベル医学・生理学賞を受賞した山中教授の聞き書きエッセイ。整形外科の臨床医時代に、骨肉腫や脊髄損傷の患者さんと出会い、こうした難病の患者さんを救いたいという思いが教授を再生医療の研究へと突き動かす。心優しい教授の人となりが見える 1 冊。

### 6 産業関係

#### 636 おもかげ復元師

笹原留似子著 ポプラ社 2012(平成 24)年 236p

岩手県で復元納棺師として会社を経営する著者。2011 年 3 月の東日本大震災で亡くなった人たちの痛ましい遺体の数々に出会い、復元ボランティアの活動を始めた。生前のように復元された姿を前に、遺族は事実を受け止め、その死を受入れることができるようになるという。

### 7 心のうるおい(趣味と芸術)

#### 748 老人クラブ、カーネギーで歌う

小島修著 岩波書店 2011(平成 23)年 194p

創立 50 周年を迎える神奈川県川崎市多摩区老人クラブ(稲田朗生クラブ)で、折しも会長を務めていた著者。何か心に残る記念事業を考え、アメリカの芸術の殿堂カーネギーホールでのコンサートを思い立った。存亡の危機にあった老人クラブを立て直し、メンバーを世界の大舞台へと導いた著者のパワーあふれる記録。







愛媛県立図書館 読書会協力図書  
新規受入セットのご紹介(一般向け) 平成 25 年版目録掲載

